

計画段階評価対応方針

【河川事業】

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
江戸川下流部の 治水機能確保対策 関東地方整備局	<p>・江戸川下流部に位置する江戸川水閘門の機械設備において、塩分の作用や、乾湿の繰り返し(干満やゲートの開閉)等による劣化に伴う重要部位(開閉に関わる部位)の不具合が多発。(学識経験者からなる検討会において全面的な改築が必要であるとの意見をいただいている。)</p> <p>・同様に、土木施設において、堰柱部の亀裂やコンクリート剥離、取付擁壁のクラック等、土木施設の各所に損傷が見られ、コンクリートの中性化や塩害による劣化が進行。 また、L1耐震性能が確保されないため、耐震対策が必要。</p>	<p>・老朽化し健全性・信頼性が著しく低下している江戸川水閘門の改修による江戸川下流部の治水安全度の確保</p>	<p>・現状で江戸川水閘門が有している塩分遡上防止、旧江戸川への維持流量の確保、旧江戸川と江戸川間の船舶の航行を確保に対する対策は全ての方策に共通して実施することを前提とし、現在の江戸川水閘門が有している機能と同等の治水機能・効果を発現できる案を立案。</p> <p>・江戸川において、実現可能であるかの観点で概略評価を行い、「改築案」「新規遊水地案」「放水路案」「稼働掘削案」「引堤案」「堤防かさ上げ案」「雨水貯留施設」「雨水浸透施設」の8案を選定。更にこのうち、具体的な目標が達成可能でかつ実現可能な2案を抽出して、8つの評価軸(「治水安全度」「コスト」「実現性」「効果の早期発現性」「持続性」「柔軟性」「地域社会への影響」「環境への影響」)について評価した。</p> <p>(案1) (水門)改築案 水閘門を改築し、旧江戸川への分派量1,000m³/sを流下可能とする案</p> <p>(案2) 放水路案 現水閘門を迂回するルートで旧江戸川への分派量1,000m³/sを流下させる放水路を整備する案</p>	<p>2案のうち、コスト面で「案1 (水門)改築案」が最も有利であり、他の評価項目でも当該評価を覆すほどの要素はないと考えられるため、「案1 (水門)改築案」による対策が妥当</p>

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
高津川総合水系 環境整備事業 中国地方整備局	<p>・益田市は、『自転車による健康増進・地域振興』や『水辺空間を活用したレクリエーションによる賑わい創出』を目指しているところだが、地域活性化に資する河川空間の活用がなされていない。</p>	<p>・「益田市自転車活用推進計画」に基づく新たなサイクリングコースの設定やレクリエーション等に活用できる水辺拠点の創出により地域活性化を図る。</p>	<p>・新たなサイクリングコースが付近を通る『やぶさめ公園付近(高津地区)』と『豊田公民館付近(横田地区)』を対象に、複数の環境整備案を立案。</p> <p>・対象箇所の特性を考慮して、「実現性」、「アクセス性」、「観光機能」、「経済性(コスト)」、「維持管理の持続性」、「地域社会への影響」、「環境・景観への影響」の7つ評価軸をもとに、2地区をそれぞれ総合的に評価。</p> <p>【やぶさめ公園付近(高津地区)】 (A案) 高角橋左岸付近 (高津川2k200付近) (B案) 高角橋右岸付近 (高津川2k200～3k000付近)</p> <p>【豊田公民館付近(横田地区)】 (A案) 向横田大橋左岸付近 (高津川11k400～11k800付近) (B案) 横田橋右岸付近 (匹見川10k200付近)</p>	<p>それぞれ比較した2案のうち、かわとまちが融合した環境整備にあたっては、アクセス性、経済性、環境・景観への影響等のそれぞれの面から、【やぶさめ公園付近(高津地区)】においては『A案:高角橋左岸付近』、【豊田公民館付近(横田地区)】においては『B案:横田橋右岸付近』の事業内容が妥当。</p>

実施箇所 実施主体	解決すべき課題等	達成すべき 政策目標	複数案との比較	対応方針
大分川総合水系 環境整備事業 九州地方整備局	<p>・大分市は、スポーツによるまちづくりを推進し、河川空間を活用したスポーツ拠点及びレクリエーション空間の形成を目指しているが、河川空間の地域活性化への活用がなされていない。</p>	<p>・河川とまちが融合したスポーツ拠点および多様な利用による賑わいある河川空間を創出</p>	<p>・水辺利用の機運が高い大分川下流区間において、新たなスポーツ拠点として、既往施設との連携を考慮し、複数の環境整備案を立案。</p> <p>・対象箇所の特性を考慮して「実現性」、「アクセス性」、「観光機能」、「経済性(コスト)」、「維持管理の持続性」、「地域社会への影響」、「環境・景観への影響」の7つの評価軸について、それぞれ評価を実施。</p> <p>(案A) 弁天大橋～府内大橋 左岸 (大分川1k200～6k600付近)</p> <p>(案B) 弁天大橋～府内大橋 右岸 (大分川1k200～6k600付近)</p>	<p>比較した2案のうち、かわとまちが融合した環境整備にあたっては、アクセス性、経済性、環境・景観への影響等のそれぞれの面から「A案、弁天大橋～府内大橋左岸」の事業内容は妥当。</p>